

令和4年1月13日

報道関係者 各位

香川県農業協同組合

「高松盆栽の郷」推進協議会
「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」優良事例に選定
令和4年1月18日高松市長へ報告

「高松盆栽の郷」推進協議会は、農林水産省が主催する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第8回選定）において、その取組み方策や方向性が評価され、優良事例に選定されました。令和3年12月9日に、首相官邸で表彰を受けました。

このたび、同アワードの選定、表彰を受けたことを、高松市の大西秀人市長に JA 香川県木内秀一代表理事理事長と盆栽生産者が報告します。

※取材いただける場合は、事前に下記までご連絡をお願いします。

1. 報告会について

- (1) 日時 令和4年1月18日（火）9時00分から9時30分
- (2) 場所 高松市役所 4階 市長応接室
所在地：高松市番町1丁目8番15号
- (3) 参加者 JA 香川県 代表理事理事長 木内 秀一
「高松盆栽の郷」推進協議会
会長・・・・・・平松 浩二
副会長・・・・・・尾路 悟
- (4) 内容 農水省実施の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第8回）にて「高松盆栽の郷」推進協議会が優良事例に選定されました。（651件応募中、34団体及び4名が選定）令和3年12月9日に首相官邸にて選定証（表彰状）が授与されました。
 - ・「高松盆栽の郷」協議会会長が、同協議会の取組みや選定までの経緯、今後の活動などについて説明します。
 - ・写真撮影

2. 選定に至った内容等

令和3年11月19日（金曜日）総理大臣官邸で開催された「ディスカバー農山漁村の宝アワード」（第8回選定）において計34地区及び4名が選定されました。

（昨年（第7回）はコロナ禍のため、オンラインで表彰式を開催。）

優良事例に「高松盆栽の郷」推進協議会が選定され、12月9日開催の総理官邸における選定証（表彰状）授与式・交流会にて選定証が授与されました。

生産者、JA 香川県が一体となって運営する「高松盆栽の郷」施設とは、46名の盆栽生産者が作る1万点以上の盆栽が一同に陳列される施設で全国でも珍しい「盆栽」の直売施設です。常駐するスタッフ（盆栽生産者）が育て方の指導や盆栽選び等の相談に応じます。

盆栽愛好家の確保、育成に対しても盆栽学校や地元小学校での指導をするなどの取組みを進めています。

3. ディスカバー農山漁村の宝とは

今回で8回目となる農水省主催の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るものです。

選定された地区に対しては、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特設 Web サイトでの活動の紹介などを通じて、全国的な情報発信を行います。

【「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特設 Web サイト】<https://www.discovermuranotakara.com/>

4. 「高松盆栽の郷」推進協議会とは

令和元年設立。高松市の鬼無町・国分寺町は、全国一の松盆栽の産地として、輸出促進を含めた国内外への需要の呼び起こしと生産体制の強化に取り組んでいます。また、情報発信や交流を進めることで、「高松盆栽」の一層のブランド化を図るとともに、その歴史や文化、景観など産地が持つ地域イメージと「高松盆栽」を結びつけ、産地そのもののブランド化を目指して活動しています。構成員は、高松市の盆栽生産者 46 名で、盆栽学校の講師や研修を通じた愛好家と担い手の育成、イベントの運営等を行っています。

5. JA香川県「高松盆栽の郷」について

「高松盆栽の郷」は、高松市の「高松盆栽の郷」基本構想において、国内有数の松盆栽の産地である鬼無・国分寺地域を「高松盆栽の郷」と位置づけ、当JAの国分寺盆栽センターの敷地約 5200 平方メートルを再整備し、盆栽の魅力を国内外へ情報発信する拠点として、令和2年4月にリニューアルオープンしました。

各種盆栽の展示販売のほか、盆栽の魅力を発信する「インフォメーションコーナー」、盆栽体験ができる研修室を設置しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

JA 香川県「高松盆栽の郷」 担当：入江、橋本（佑） 電話：087-874-2795

※ 情報提供：JA香川県企画管理部企画広報課 電話：087-825-1233